

創刊の辞

安全保障戦略研究編集委員会

編集委員長 庄司 潤一郎

(防衛研究所 研究幹事)

防衛研究所は、昭和 27 年 8 月に保安研修所として発足ののち、昭和 29 年には自衛隊の創設にともない防衛研修所と改称され、さらに昭和 60 年には現在の防衛研究所へと発展を続け、本年は 68 年を迎えることになります。この間、防衛省における最高の戦略研究機関、教育機関として、我が国の防衛政策及び防衛理論の形成と幹部自衛官その他の幹部職員の育成に大きな役割を果たしてきました。

情報発信については、これまで、『東アジア戦略概観』、『中国安全保障レポート』、『防衛研究所紀要』、『戦史研究年報』など、多方面にわたり活発に行ってきたところです。

『防衛研究所紀要』については、研究成果のうち現代の安全保障問題を中心に広く安全保障問題の専門家に向けて発信することを目的として、平成 10（1998）年に創刊、現在に至っています。

この間、国民の間での理解の広がりに伴って、安全保障に関する教育・研究も、徐々に大学などで認知され、広まってきました。そのような学界や社会の潮流の変化に対応して、この度、情報発信の強化・充実の一環として、『防衛研究所紀要』は約 22 年に及ぶ歴史に終止符を打ち、新たに『安全保障戦略研究』として生まれ変わることになりました。

『安全保障戦略研究』は、日本における安全保障に関する学術研究の発展及び国民への知識の普及に寄与することを目的として、防衛研究所が刊行する、専門的な学術誌です。

本誌は、安全保障問題を、狭く限定するのではなく、広く国際関係、法、政治、経済、理論、地域、歴史、技術、心理、情報などの観点から分析した研究を掲載の対象としています。

『防衛研究所紀要』とは異なり、誌面を研究所内外の研究者に開放し、部外の研究者の投稿も歓迎いたします。奮って応募いただくことを期待しています。

今後とも、『安全保障戦略研究』はもとより、防衛研究所に対して一層の御支援をお願い申し上げます。